

神戸大学と株式会社ファイトクロームの共同開発による作物への高温耐性付与剤「すずみどり」を今春より本格発売

農学研究科 助教
山内靖雄

神戸大学と㈱ファイトクロームは、10 年来の共同研究の成果が結集され、従来型の農業資材とは異なる新発想の原理に基づいた画期的な作物への高温耐性付与剤「すずみどり」を共同で開発しました。昨年、一部地域限定（北海道、九州）での試験販売の開始に続き、今春より本格的に全国規模で販売を開始します。

近年多発している異常気象による作物の減収が、農家の抱える大きな問題となっています。従来用いられてきている肥料や農薬では、この問題に対処することができませんでした。今回共同開発した「すずみどり」は、植物が潜在的に持っている環境に対する抵抗力を人為的に発揮させることにより、作物の生育に悪影響をもたらす環境下（特に高温下）での生育阻害や障害を最小限に抑えることができる化合物（バイオスティミュラント）を植物に作用させるため、結果的に作物の収量・品質を改善することが可能となりました。

すずみどりは、「緑の香り」と呼ばれる天然の葉の香り成分が主成分ですが、この成分は植物が自身のストレス耐性を高めるために植物自らが作り出す化学物質です。この物質を人為的に植物に処理することにより、プライミング効果を通じて植物のストレス耐性を高めることができます。本製品は、論文として既に発表されている科学的な根拠に基づいています（Yamauchi et al. 2015 Nature Scientific Reports）。

すずみどりをを用いてハウスなどの閉鎖空間に香り成分を揮発させることにより、植物が持っている香りを感じ取る機構（立ち聞き現象と呼ばれます）を介して植物に作用させるため、処理方法が非常に簡便です。ハウス内に吊るすだけの錠剤で、平均気温 25℃程度で効果が約 1 ヶ月持続します。

ハウス育苗にはムレ苗、葉先枯れ、しおれ対策に、定植後には果菜類の花芽分化異常、節間（花房間）の徒長、茎細り、葉やけの軽減などの使用用途が見込まれております。

【問合せ先】

山内靖雄（農学研究科植物機能化学研究分野・助教）

078-803-5886 yamauchi@kobe-u.ac.jp

㈱ファイトクローム 取締役研究・製造本部長 河合博 様

03-4316-4920 kawai@phyto.jp